美麻小中にリニューアル！
手作り遊具一部完成！

ゆるきゃらの森制作！

ゆるきゃらの森とは、しいたけ広場の西側にある広場の事。ここは、今まであまり人が来なかったのと、木が多くありたくさん遊ぶことができそうだったので遊具を作り、人が多く来るような場所にするため遊具作りを始めた。活動内容は、看板作り、タイヤぴょんぴょん作り、ターザンロープ作り、道・広場の整備だ。

制作メンバー　手塚幹太　神山隼人　稲木悠翔

看板作り

森のコースがわかりやすいように看板を作った。美麻のゆるきゃらの麻の大丸、しかなん、みあさる、あさみちゃんの看板を作った。

タイヤぴょんぴょん

タイヤぴょんぴょんは、タイヤを半分土の中に埋め、その上を跳ぶ遊具だ。小さいタイヤと大きいタイヤの５つを埋めた。大きなタイヤは、小さいタイヤより深く掘らないといけないため大変だった。菊本嘉一さんと丸山哲由先生に手伝っていただいた。

ターザンロープづくり

ターザンロープとは、タイヤに乗って木と木の間に張ったロープをすべる遊具だ。まず木と木の間にロープを張った。ロープはきつく縛っていなく、ほどけてしまい、何回もやり直した。ほどけると危ないため、きつく結んだ。ロープがたるまないか、実際にぶら下がり確かめた。

美麻地区公式キャラクターの看板

昨年度の9年生考案の美麻の公式キャラクター

僕たちは、美麻地区公式キャラクターの看板を作った。（右上から時計回りに、しかなん、あさみちゃん、みあさる、麻野だい丸）の看板だ。しかなんの看板はコースの入り口、あさみちゃんの看板は、コースの途中にある小川に作った小さい池、みあさるの看板はアスレチック、麻野だい丸の看板は椎茸広場の入り口に設置する予定です。昨年制作途中だった看板を完成させようと思い、多少付け足したりして、完成させました。

ターザンロープ、設置したけれど・・・

ロープがほどけないようにしっかりと結ぶ。

7月、僕達はターザンロープを作り始めた。まず、必要なロープの長さを知るために、メジャーを使って木と木の間の距離を測った。すると、元からあったロープの長さが足りることがわかった。なので、元からあったロープを使うことに決めた。

制作開始。木の間にロープを張る。ロープがたるまないように一方を木に結んでから、反対側を全員で引っぱり、５ｍくらい離れた木に結びつけた。この時に、ほどけない結び方を丸山哲由先生に教えてもらった。次に、ロープにＵ字型の金具を付け、金具とタイヤをロープで結び付けた。この時にも、ひもがはずれない結び方を教えてもらった。しかし、安全上の理由で設置を諦めた。

今後は・・・

今後行うことは、看板の設置、遊具を安全に遊べる工夫、遊具の増加、コース上の木や石の除去、ゆるきゃらの森を多くの人へ宣伝すること。

今回、活動計画通りにいかなかった部分もあったと思うが、美麻小中のみんな、特に低学年の人達がこれらの遊具で遊んでくれると思うので良かったと思う。今回手伝ってくれた菊本嘉一さん、丸山哲由先生ありがとうございました。

タイヤの力でみんながはねる！！

タイヤが倒れないように、土を固める。

タイヤぴょんぴょんはタイヤを半分土の中に埋め、その上を跳んだりして遊べる遊具だ。今回、小さいタイヤは３つ、大きいタイヤは２つ埋めた。タイヤを埋める場所は土がやわらかい場所を選んだ。

まず、タイヤを埋めるためにそれぞれのタイヤの直径に合うように穴を掘った。小さいタイヤの穴は、一個10分ほどで掘れた。次にタイヤを埋めていった。しっかりと土に固定しないとタイヤが倒れてしまうので、土をかぶせた後、何回も踏み固めていった。結局、穴を掘るときよりも時間がかかってしまい、15分ほどで一個のタイヤを埋めることができた。小さいタイヤは全部で２時間ほどで設置することができた。

次に大きなタイヤを設置した。大きなタイヤは南庭に埋めてあったタイヤを利用した。そのため、一度掘り起こさなければならず、２個掘り起こしたところ１時間ほどかかってしまった。次に、穴を掘っていった。これもとても大変で、２個分掘るのに２時間ほどかかった。埋めるときは一時間ほどでできたが、タイヤが倒れないようにするために、土を何度も踏み固めるのが大変だった。

タイヤぴょんぴょんはやってみて楽しいので、ぜひ、遊びに来て欲しい。